

令和2年度当初予算のポイント

好きなんよ



令和2年2月
広島県 呉市

ワクワク・イキイキする令和2年度予算

～誰もが住み続けたい、訪れてみたい魅力的なまち「くれ」の実現に向けて～

- ◎ 令和2年度予算においては、**復興計画（復旧期）及びくれワンダーランド構想の考え方と一体的に推進する第4次長期総合計画等の最終年度において必要な施策を着実に実施するための予算を確保しつつ、健全な財政運営の確保のため、行財政改革も着実に実施。**

豪雨災害からの着実で力強い復興の実現

- 平成30年7月豪雨災害からの復旧・復興の実現に向けて、**呉市復興計画に基づく取組**や、**令和元年9月に策定した地区計画に基づく取組を一層推進。**

1. 住まいと暮らしの再建, 2. 災害に強い安全・安心なまちづくり, 3. 産業・経済の復興, 4. 今後の防災・減災に向けた取組

「くれワンダーランド構想」の考え方と一体的に推進する第4次長期総合計画等の推進

- **魅力的なまち「くれ」の実現**に向けて、**第4次長期総合計画等に基づく施策**（人づくり・地域づくり・都市づくり）**を一層推進し、次期長期総合計画を見据えた施策も展開。**

1. 人づくり（市民主体のまちづくりの展開）、2. 地域づくり（地域の魅力の更なる創出）、3. 都市づくり（都市機能の強化・充実）

行財政改革の着実な実施

- 健全な財政運営の確保のため、**自主財源の確保や事務事業の見直し等の行財政改革を着実に実施。**

1. 市民ニーズに対応する行政サービスの提供, 2. 効率的な行政システムの構築, 3. 健全な財政運営の確保, 4. 職員の意識改革と能力開発

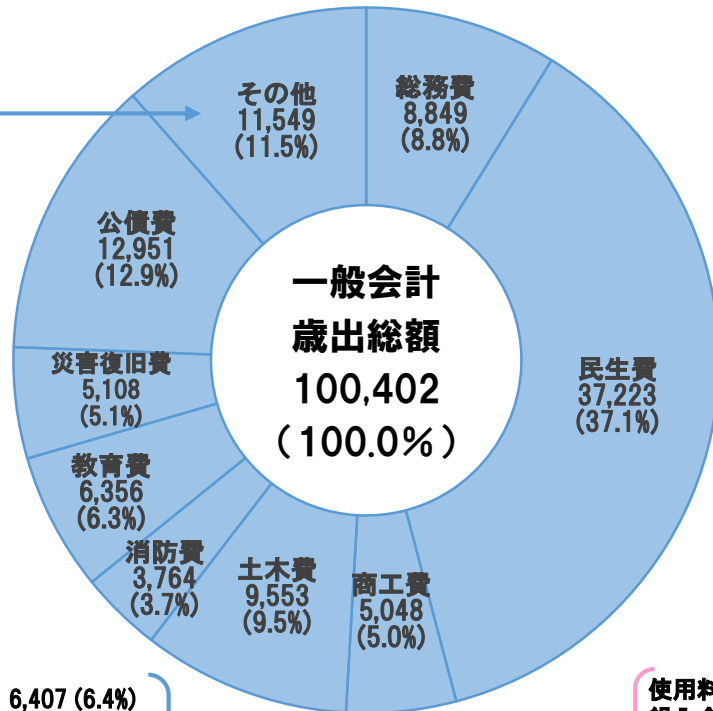
令和2年度 一般会計歳出・歳入の全体像

令和2年度予算額 1,004億円
(対前年度+1億円 +0.1%)

○ 令和2年度予算の一般会計（歳出）は、**消防庁舎等建設（▲15億円）**や**市債償還（▲8億円）**等による**減**があるものの、**災害公営住宅整備（+10億円）**、**河川改良などの緊急自然災害防止対策（+7億円）**や**介護保険事業（保険勘定）繰出金（+5億円）**の**増**により、令和元年度当初予算と比して微増となった。
(詳細はP7参照)

一般会計歳出

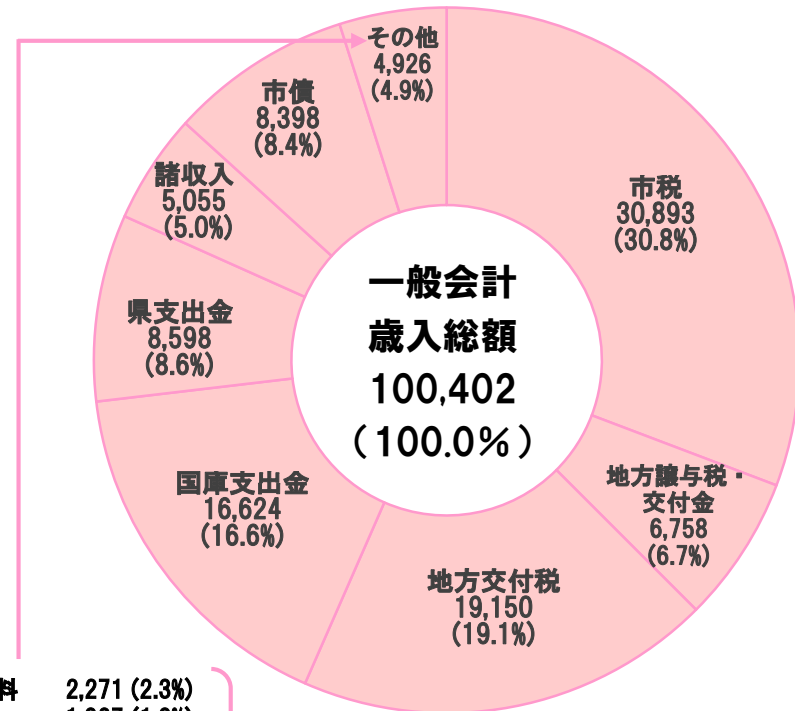
(単位：百万円)



衛生費	6,407 (6.4%)
農林水産業費	2,092 (2.1%)
諸支出金	1,844 (1.8%)
議会費	581 (0.6%)
労働費	574 (0.6%)
予備費	50 (0.0%)

一般会計歳入

(単位：百万円)



使用料及び手数料	2,271 (2.3%)
繰入金	1,027 (1.0%)
分担金及び負担金	686 (0.7%)
財産収入	407 (0.4%)
繰越金	320 (0.3%)
寄附金	216 (0.2%)

(注) 計数は、それぞれ四捨五入によっているため、端数において合計と一致しないものがある。

- 令和2年度予算は、**復興計画における復旧期の最終年度として道路・河川などの災害復旧事業を着実に実施。**
- **復旧・復興の推進に向けた対応**や、令和元年9月に策定した**地区計画をはじめとする本格的な復興に向けた取組を一層推進。**

呉市復興計画（4つの基本方針）

1. 住まいと暮らしの再建
2. 災害に強い安全・安心なまちづくり
3. 産業・経済の復興
4. 今後の防災・減災に向けた取組

地区計画（特に大きな被害を受けた
天応地区・安浦地区の取組方針）を策定

復旧・復興の推進に向けた対応

- ・ 避難生活者などへの心身のケア、生きがいつくりのための「心の復興」、住宅の再建など、被災者それぞれの生活再建のステージに応じた切れ目のないきめ細かな被災者に寄り添った支援
- ・ 観光客の呼び戻し、商店街のにぎわい創出、農業経営の支援、水産物の販路拡大、創業希望者の発掘など産業・生業の再生等

1. 住まいと暮らしの再建（15億円）

①被災者支援（10億円）

- ・ 被災者の生活支援・見守り・心のケア（71百万円）
- ・ 住まいの再建（965百万円）

②子ども・子育て支援（5億円）

- ・ 子どもと子育て家庭の支援（499百万円）
- ・ 児童・生徒の支援（2百万円）

3. 産業・経済の復興（2億円）

①地域産業の復旧・復興

- ・ 商工業の復旧・復興（20百万円）
- ・ 観光の復興（154百万円）
- ・ 農水産業の復旧・復興（13百万円）
- ・ 港湾・物流機能の強化（8百万円）

2. 災害に強い安全・安心なまちづくり（85億円）

①土木施設等の強靱化（73億円）

- ・ 土木施設等の復旧・強化（4,488百万円）
- ・ 農林水産業基盤施設の復旧・強化（2,837百万円）
- ・ 復旧・復興事業の見える化（2百万円）

②公共施設等の強靱化（6億円）

- ・ 公共施設等の復旧・強化（650百万円）

③上下水道施設の強靱化（5億円）

- ・ 上下水道施設等の復旧・強化（453百万円）

④交通基盤の強靱化（1億円）

- ・ 交通の強化・確保・渋滞対策（53百万円）

4. 今後の防災・減災に向けた取組（3億円）

①防災・減災に向けた体制の強化

- ・ 防災力の向上（305百万円）・未来への継承（1百万円）

復旧・復興事業に係る事業費は、令和2年度予算を含め総額365億円^(注2)となる見込み。その大部分が有利な起債・国庫補助等^(注3)を活用（325億円、89%）しており、市負担は41億円^(注2)となっている。引き続き、有利な財源を活用し全力で復旧・復興に取り組む。

（注1）点線四角囲み内の計数は、一般会計ベースであり上下水道局分は含まない。

（注2）復旧・復興事業に係る事業費は、平成30年度から令和2年度までの事業費であり、市負担には市債の元利償還は含まない。（注3）国庫補助等には、県補助及び分担金を含む。

（注4）計数は、精査の結果、変更する場合がある。また、計数は、それぞれ四捨五入によっているので、端数において合計と一致しないものがある。

「くれワンダーランド構想」の考え方と一体的に推進する第4次長期総合計画等の推進

- 現計画の最終年度となる令和2年度予算は、**豪雨災害からの本当の意味での復興や、女性・若者・高齢者も誰もが住み続けたい、訪れてみたいと思える魅力的なまち「くれ」の実現**に向けて、長期総合計画の3つの重点戦略を踏まえた**重点プロジェクト等を一層推進し、次期長期総合計画を見据えた施策も展開**。

第4次呉市長期総合計画（3つの重点戦略）

1. 人づくり ～市民主体のまちづくりの展開～
2. 地域づくり ～地域の魅力の更なる創出～
3. 都市づくり ～都市機能の強化・充実～

くれワンダーランド構想（3つのビジョン）

1. 自然と調和した未来志向の「イキイキした呉」を構築
2. 女性と若者のチャレンジ支援と時代を先取る産業の創造
3. 世界に自慢できる交流都市への発展

1. 人づくり ～市民主体のまちづくりの展開～

①未来を担う人材の育成（子育て世代が住みやすく、子どもがのびのびと育つまち）

子育て支援の充実（603百万円）、保育メニューの充実（170百万円）、保育士の人材確保等（101百万円）、子どもの居場所づくり（19百万円）等

②市民の健康づくりの推進（住みなれた地域で、いつまでも元気に自分らしく暮らせるまち）

目指せ！健康寿命日本一プロジェクトの推進（402百万円）、介護予防の充実（85百万円）、オリンピックを契機としたスポーツ参加意識の醸成（9百万円）等

③地域協働によるまちづくりの推進（みんなが一緒になって、地域の個性や特色を活かすまち）

ゆめづくり地域協働の推進（84百万円）

2. 地域づくり ～地域の魅力の更なる創出～

④安全・安心な生活環境の確保（元気に暮らせる、災害に強い幸せで魅力あるまち）

被災者（仮設住宅入居者等）の住まいの確保（965百万円）、土木施設・農業用施設の緊急自然災害防止対策（1,240百万円）、防災情報の発信・地域防災力の強化（41百万円）等

⑤産業競争力の更なる強化（時代を先取る産業が育つ、トキメキあふれ賑わうまち）

新たな観光推進体制の構築と誘客推進（26百万円）、町並み保存地区（御手洗）の文化財保存・活用（40百万円）、企業立地の促進（702百万円）等

⑥産業を支える人材の確保・育成（女性と若者がイキイキとチャレンジできるまち）

創業・新たなチャレンジへの支援（223百万円）、就労支援の充実（42百万円）

3. 都市づくり ～都市機能の強化・充実～

⑦高次都市機能の強化・充実（多様なヒト・モノ・コトが集う、世界に誇れるまち）

呉駅周辺地域総合開発の推進（45百万円）
呉ICへのアクセス道路・災害に強い道路の整備（15百万円）
マイナンバーカードの普及促進（70百万円）等

⑧魅力ある住生活環境の確保（居心地が良く、質の高い暮らしができるまち）

安芸灘諸島・倉橋島等の振興（77百万円）
外国人住民の相談体制の強化（14百万円）
呉氏・呉ファンクラブ等による呉のPR・魅力発信（125百万円）等

（注1）計数は、精査の結果、変更する場合がある。

（注2）計数には、一部、重複計上がある。

○健全な財政運営の確保のため「第3次呉市行政改革実施計画」等に基づく行財政改革を着実に実施。

第3次呉市行政改革実施計画（4つの基本方針）

1. 市民ニーズに対応する行政サービスの提供 2. 効率的な行政システムの構築 3. 健全な財政運営の確保 4. 職員の意識改革と能力開発

1. 市民ニーズに対応する行政サービスの提供

○納税・納付環境の多様化

・Pay B導入により、納税・納付環境が更に向上

○マイナンバーカードの普及促進

・コンビニで住民票等の交付が受けられるサービスによる市民の利便性を向上

2. 効率的な行政システムの構築

○職員の適正配置（職員人件費（除く退職手当）▲136百万円）

・令和元年度：1,592人→令和2年度：1,566人（▲26人）

※一般会計ベース

○指定管理者制度の導入，外部委託による事務事業の効率化

・新日本造機ホールへの指定管理者制度の導入
・出納業務等の外部委託化（▲2百万円）

○公共施設の適正配置

・クリーンセンターくれの整備方針を検討，芸予環境衛生センター（焼却）の方向性の検討
・し尿処理施設（安浦処理場，新宮浄化センター等）の統合
・下蒲刈小学校を蒲刈小学校へ統合等

3. 健全な財政運営の確保

○歳入の確保

・市税等の収納率向上の取組
相続財産管理人制度の導入による税収確保等の強化
・ふるさと納税の促進（+80百万円）
・受益者負担の適正化（+80百万円）
使用料・手数料の改定
・公有財産の売却及び有償貸付の促進
・ネーミングライツの募集
・有利な財源の確保等
交付税措置のある有利な起債・国庫補助の積極的な活用

○歳出規模の縮減（▲108百万円）

・事務事業の見直し（▲80百万円）
・補助金等見直しガイドラインに基づく見直し（▲28百万円）

4. 職員の意識改革と能力開発

○人材育成基本方針の推進

・国の機関等への職員派遣等

○臨時・非常勤職員制度の見直し

・会計年度任用職員制度の導入

（注1）計数は、予算編成時点の効果見込み額であり、今後、変動する場合がある。

（注2）右上表記の効果見込み額は、歳出削減（▲表記）に係る効果見込み額の合計である。

（注3）計数は、それぞれ四捨五入によっているので、端数において合計と一致しないものがある。

令和2年度 一般会計歳入の内訳

【款別】

(単位：百万円)

区 分	令和2年度予算 (案)	令和元年度予算 (当初)	増▲減額	伸 率	主 な 増 減 理 由
1 市税	30,893	30,545	347	1.1%	個人市民税+137, 固定資産税+193
2 地方譲与税・交付金	6,758	5,641	1,118	19.8%	地方消費税交付金+1,005, 法人事業税交付金+229, 自動車取得税交付金▲115
3 地方交付税	19,150	20,600	▲1,450	▲7.0%	普通交付税▲700, 特別交付税▲750
4 分担金及び負担金	686	817	▲131	▲16.0%	私立保育所負担金▲205
5 使用料及び手数料	2,271	2,191	80	3.6%	ごみ処理手数料+62, 墓地及び斎場使用料+27
6 国庫支出金	16,624	16,986	▲362	▲2.1%	消防庁舎等建設▲682, プレミアム付商品券発行▲500
7 県支出金	8,598	9,216	▲618	▲6.7%	公共災害復旧(農林水産施設)▲793
8 財産収入	407	367	39	10.7%	財産売却収入+43
9 寄附金	216	136	80	59.0%	ふるさと納税寄附+80
10 繰入金	1,027	1,380	▲353	▲25.6%	減債基金▲350
11 繰越金	320	—	320	皆増	純繰越金+320
12 諸収入	5,055	5,246	▲191	▲3.6%	中小企業融資預託金元利収入▲200
13 市債	8,398	7,169	1,229	17.1%	河川改良+615, 災害公営住宅整備+368, 道路改良+140
合 計	100,402	100,294	108	0.1%	

(注) 計数は、それぞれ四捨五入によっているので、端数において合計と一致しないものがある。

令和2年度 一般会計歳出の内訳

【目的別】

(単位：百万円)

区 分	令和2年度予算 (案)	令和元年度予算 (当初)	増▲減額	伸 率	主 な 増 減 理 由
1 議会費	581	592	▲10	▲1.7%	議会運営活動▲4
2 総務費	8,849	8,037	812	10.1%	市税還付金+243, 戸籍住民基本台帳事務+159, 市民センター整備+141
3 民生費	37,223	37,551	▲328	▲0.9%	生活保護費▲650, 介護保険事業(保険勘定)会計繰出+490
4 衛生費	6,407	6,249	158	2.5%	ごみ処理施設管理運営+209
5 労働費	574	572	2	0.4%	きんろうプラザ管理運営+10
6 農林水産業費	2,092	1,948	145	7.4%	ため池・農業用水路改良+78, 農地耕作条件改善+57
7 商工費	5,048	5,633	▲584	▲10.4%	プレミアム付商品券発行▲500, 企業立地条例助成+206
8 土木費	9,553	7,431	2,122	28.6%	災害公営住宅整備+962, 河川改良+615, 港湾施設改良+165
9 消防費	3,764	5,230	▲1,465	▲28.0%	消防庁舎等建設▲1,469
10 教育費	6,356	6,079	277	4.6%	安浦中学校建設+149, 小中学校ブロック塀対策+112
11 災害復旧費	5,108	5,202	▲94	▲1.8%	農地災害復旧▲492, 水路災害復旧+344
12 公債費	12,951	13,714	▲764	▲5.6%	市債元金▲573, 市債利子▲190
13 諸支出金	1,844	2,007	▲163	▲8.1%	下水道事業経営安定化補助金▲86, 下水道事業公債費等補助金▲34
14 予備費	50	50	0	0.0%	
合 計	100,402	100,294	108	0.1%	

(注) 計数は、それぞれ四捨五入によっているため、端数において合計と一致しないものがある。

令和2年度 特別会計・公営企業会計の概要

【特別会計】

(単位：百万円)

区 分	令和2年度予算 (案)	令和元年度 (当初予算)	増▲減額	伸 率	主 な 増 減 理 由
国民健康保険事業 (事業勘定)	21,226	23,230	▲2,004	▲8.6%	保険給付費▲1,108, 国民健康保険事業費納付金▲914
後期高齢者医療事業	3,941	3,812	130	3.4%	広域連合納付金+127
介護保険事業 (保険勘定)	24,483	23,222	1,261	5.4%	保険給付費+1,253
集落排水事業	648	641	8	1.2%	田原地区漁業集落排水施設建設+13
港湾整備事業	798	1,166	▲368	▲31.6%	港湾施設整備事業▲295, 市債元金▲62
臨海土地造成事業	2,731	1,571	1,161	73.9%	市債元金+1,254
その他10特別会計	1,179	712	467	65.7%	内陸土地造成(市債元金)+441
合 計	55,008	54,353	655	1.2%	

【公営企業会計】

(単位：百万円)

区 分	令和2年度予算 (案)	令和元年度 (当初予算)	増▲減額	伸 率	主 な 増 減 理 由
病院事業	820	784	36	4.6%	給与費+60
水道事業	10,333	9,095	1,238	13.6%	建設改良費+731, 給水収益+415
工業用水道事業	806	842	▲36	▲4.3%	建設改良費▲83, 給水収益+28
下水道事業	13,402	13,612	▲209	▲1.5%	企業債償還金▲174
合 計	25,360	24,333	1,028	4.2%	

(注) 計数は、それぞれ四捨五入によっているので、端数において合計と一致しないものがある。